

2022 パラ水泳春季記録会
兼マデイラ 2022WPS 世界選手権日本代表選手選考戦における
新型コロナウイルス感染症防止策の追加について

蔓延防止重点措置が13都道府県において3月6日まで延長することになりました。これを受けて以下の通りに感染対策を見直します。

新規感染者数の減少が緩やかで、無症状の感染者が増えているなどからマスクを外して活動する選手においては **PCR 検査の陰性通知の提示を参加条件の一つに追加**します。参加者個々において感染対策を徹底して行い、お互いが濃厚接触者とならないよう心掛けてください。

参加選手、競技役員ならびに全ての入場者は、当日に体調不良がある、家族に感染を疑う症状がある場合、参加は見合わせてください。

選手、選手の同行者(コーチ、保護者などの立場に関係なく)、競技役員、ならびに会場(トレーナーブースも含む)に入場するすべての入場者については、来場前10日間の体温を含む「健康チェックシート」の提出が必要です。各自の来場初日(練習日または記録会当日)に必ず持参してください。提出がない場合は会場に入場することができません。

入館時に健康チェックシートの確認と検温を行います。表面温度計により37℃以上を計測した場合は、腋窩検温を行います。37℃以上(平熱が高い場合は別途検討)ある場合や、健康状態によっては入場をお断りすることがあります。選手においてはPCR検査の陰性結果の確認を行います。健康状態を確認し、参加可能と判断された方には、ADカードをお渡しします。ADカードは会場内では常に携帯(首から下げる等)してください。ADカードがない場合は会場に入場できません。

ADカードを受け取った後は、毎日、各自で起床時の体温を記入し、入館の検温時にご提示ください。

ADカードは、参加終了の際に回収します。(用紙のみ返却、ホルダーは持ち帰り)

追加事項詳細

- (1) 選手は全員PCR検査を必須とします。参加日の前72時間以内のPCR検査結果を有効とします。検査結果を受付時に提示してください。PCR検査で陰性が確認できない場合や、陽性の場合には入場できません。

陽性の場合には会場への来場は控えていただき、保健所等の指示に従ってください。

- (2) PCR検査について

検体採取日の72時間以内の検査結果を有効とするため、参加日の前3日に検体(唾液等)を採取して参加日までに結果が出るPCR検査(検体の種類や検査方法は問わない)で、結果の通知がメール等で提示できるものを各自で手配してください。費用は自費となります。

結果の通知には受検者氏名、検査日、検査結果(陰性・陽性)、検査方法、検査機関名、検査管理者氏名、が記載されているものとします。各自で購入できるものや自治体が行う無料PCR検査などをご利用ください。医師による陰性証明は不要です。抗原検査の結果は原則認めません。

- (3) 新型コロナ感染症にかかった場合、事前にご相談ください(連盟HPのお問合せページより)

感染症にかかった場合の参加基準は

- ◆症状がある場合：症状が出た日から10日以上経過しかつ症状軽快後72時間経過後
- ◆無症状の場合：検体採取後10日経過後

とします。ただし、感染した場合は無症状者でもスポーツへの復帰は段階的に進めることが推奨されていますので、ご注意ください。

参考

濃厚接触者の定義（厚生労働省より抜粋）

濃厚接触者とは、陽性となった人と一定の期間に接触があった人をいいます。ここでいう一定の期間は、症状のある人では症状出現から2日前、症状のない人では検体採取時から2日前の期間です。

この期間に、以下の条件に当てはまる人を濃厚接触者といいます。

陽性者と同居している人

陽性者と長時間接触した人（車内、航空機内などを含む。機内は国際線では陽性者の前後2列以内の列に搭乗していた人、国内線では周囲2m以内に搭乗していた人が原則）

適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた人

陽性者の気道分泌液や体液などの汚染物質に直接接触した可能性が高い人

マスクなしで陽性者と1m以内で15分以上接触があった人

ただし、これはあくまで原則であり、あらゆる状況を聞き取ったうえで保健所が総合的に判断します。

以上

安全・安心な記録会の開催に向けて、一人一人が感染防止策の徹底をお願いします。

2022 パラ水泳春季記録会実行委員会